

TDnet (適時開示情報伝達システム)

③ - 3 コーポレート・ガバナン スに関する報告書提出ガイド

2025/10/26

Ver. 5.5

変更履歴

版数	変更日	変更箇所	変更内容
5.0	2021/12/18	新規作成	-
		1.1-①、1.1-②、1.1-⑤	レイアウト変更に伴う画面キャプ
5.1	2023/1/15	1.2-①、1.2-⑤、1.2-⑥、	チャの更新
		3-①、4-②	
5.2	2024/10/25	4-①	参考様式(英訳版)の参照先の更新
F 0	2025/3/30	1.1-4, 1.1-5, 1.1-13,	レイアウト変更に伴う画面キャプ
5.3		1.1-4, 4-3	チャの更新
5.4	2025/10/14	7. お問合せ先	ご利用端末の 0S 記載例を
			Windows10 から Windows11 に修正
5.5	2025/10/26	1.1-①、1.1-⑤、1.2-①、	文言変更に伴う画面キャプチャの
		1.2-⑤、3-①、4-②	更新

Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All Rights Reserved.

本ガイドブックに関する著作権は、すべて発行者である株式会社 東京証券取引所に帰属します。

したがって、株式会社東京証券取引所が適当と認める範囲における複製・改変を除き、許可なくその全部又は一部を複製・転載し 又は改変するなど、株式会社東京証券取引所の著作権を侵害する 行為は、これを一切禁じます。



目

1.	ガバ	ナンス報告書の作成から提出までの流れ	2
1.	1. 前	」回提出時のガバナンス報告書を更新して作成・提出する場合	2
1.	2. ガ	バナンス報告書を新規に作成して提出する場合(新規上場時やガバナンス体制の組織形態	態を
変	更した	- 際など)	18
2.	ガバ	ナンス報告書作成時における留意事項	24
2.	1. 情	「報入力時における留意事項	24
	2.1.1.	入力文字	24
	2.1.2.	模式図	24
3.	公表征	後のガバナンス報告書の訂正	27
4.	英訳	版ガバナンス報告書の提出	32
5.	セッシ	ションタイムアウト警告メッセージ表示及び強制一時保存機能	36
6.	Q&A		38
7	お問名	슬····································	38



1. ガバナンス報告書の作成から提出までの流れ

本提出ガイドでは、コーポレート・ガバナンスに関する報告書(以下「ガバナンス報告書」といいます。) の作成から提出までの流れについて記載しています。

ガバナンス報告書の作成から提出に係る手続きの流れは以下のとおりです。

1.1.前回提出時のガバナンス報告書を更新して作成・提出する場合

(ガバナンス報告書を新規に作成して提出する場合は、「1.2. ガバナンス報告書を新規に作成して 提出する場合」をご参照ください。また、ガバナンス報告書の英訳版を提出する場合は「4. 英訳 版ガバナンス報告書の提出」をご参照ください。)

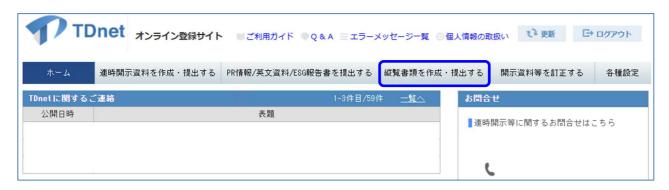
《基本的な流れ》

手順	項目	内容
- 丁順	(特日)	Y1分
1	ガバナンス報告書 (XBRL)	・TDnet オンライン登録サイトにログインし、「縦覧書類を作
	の作成・登録	成・提出する」タブを押下します。
		・コーポレート・ガバナンス報告書の「提出」ボタンを押下し、
		ガバナンス報告書提出画面を開き、「更新」ボタンを押下する
		と、前回提出時の情報が入力されたガバナンス報告書データ
		(XBRL) 作成画面が表示されますので、内容を更新して登
		録します。
2	ガバナンス報告書 (PDF)	・手順 1 でガバナンス報告書データ(XBRL)を登録すると、
	の作成・保存	登録と同時に PDF ファイルが自動で作成され、登録されま
		す。
3	ガバナンス報告書 (XBRL・	・ガバナンス報告書提出画面に必要な情報を入力します。
	PDF)の提出	・確認・プレビュー画面にて内容確認後、提出します。



《操作手順》

1.1-①TDnet オンライン登録サイトにログインし、「縦覧書類を作成・提出する」タブを押下します。

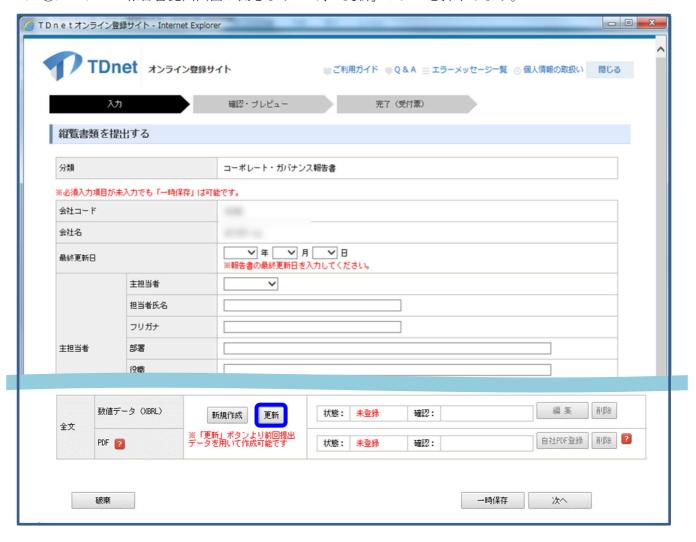


1.1-②「コーポレート・ガバナンス報告書」の「提出」ボタンを押下します。





1.1-③ガバナンス報告書提出画面が開きますので、「更新」ボタンを押下します。



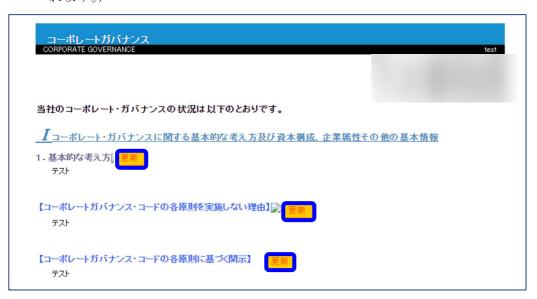


1.1-④ガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面が開き、前回提出時の情報がデフォルト表示されていますので、内容を更新して「確認・プレビュー」ボタンを押下します。





※内容を更新する際、前回からの更新項目については各項目の左端にあるチェックボックスにチェックを入れてください。(チェックを入れると、プレビュー画面において「更新」アイコンが表示されます。)



※項目単位で改ページ位置を指定することが可能となっており、PDF の見た目を整えることができます。



※内容の更新作業中、「一時保存して提出画面に戻る」ボタンを押下すると、更新内容が一時保存され、ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面はクローズし、提出画面に戻ります。提出画面でも「一時保存」ボタンを押下すると、一時保存されたガバナンス報告書データ(XBRL)は、ホー



ム画面の「未提出/一時保存資料一覧」に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」(「最終更新日」に日付を入力した場合は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書 YYYY/MM/DD」)という表題で保存されます。

更新作業を再開する際は、一時保存データの「<u>表題</u>」を押下するとガバナンス報告書提出画面が開きますので、「編集」ボタンを押下の上、上記④に戻ってください。



※ホーム画面の「未提出/一時保存資料一覧」に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」が存在する状態で、新たにガバナンス報告書提出画面を開いても、ホーム画面の「未提出/一時保存資料一覧」に保存されている「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」データは、自動的に新たに開いた提出画面には紐付きません。

€ 105% ▼



1.1-⑤確認・プレビュー画面 (HTML 画面) が開きますので、内容を確認してください。

内容に問題がない場合「登録」ボタンを押下します。なお、「登録」ボタンを押下する前に「PDFプレビュー」ボタンを押下することにより、PDFでの表示を確認することが可能です。



※「登録」ボタンを押下すると、登録が完了し、ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面はクローズします。

(なお、登録されたガバナンス報告書データ(XBRL)は、ガバナンス報告書提出画面の「数値データ(XBRL)」の「確認表示」より HTML 画面で確認できます。また、ガバナンス報告書データ(XBRL)の登録時に、自動的に生成された PDF ファイルは、「PDF」の「確認表示」から確認可能です。)



※ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面にて、模式図に PDF ファイルを登録した場合は、上記 1.1-⑤(確認・プレビュー画面)では、登録した模式図 PDF は表示されませんので、確認・プレビュー画面の「PDFプレビュー」もしくは、ガバナンス報告書提出画面の「PDF」の「確認表示」よりご確認いただく必要があります。



※上場会社各位で作成した PDF ファイルの登録を行う場合は、「自社 PDF 登録」ボタンを押下し、ファイルのアップロードを行ってください。自動作成され、すでに登録済みの PDF ファイルに上書き登録します。



※上場会社各位で作成した PDF ファイルを登録する際、ファイル名及びフォルダ名(ファイルの格納階層(パス)) に機種依存文字等(半角の「。」「、」「・」「「」、半角カタカナ、外字など、JIS 第 1 水準及び第 2 水準文字以外の文字) が含まれていないことをご確認ください。

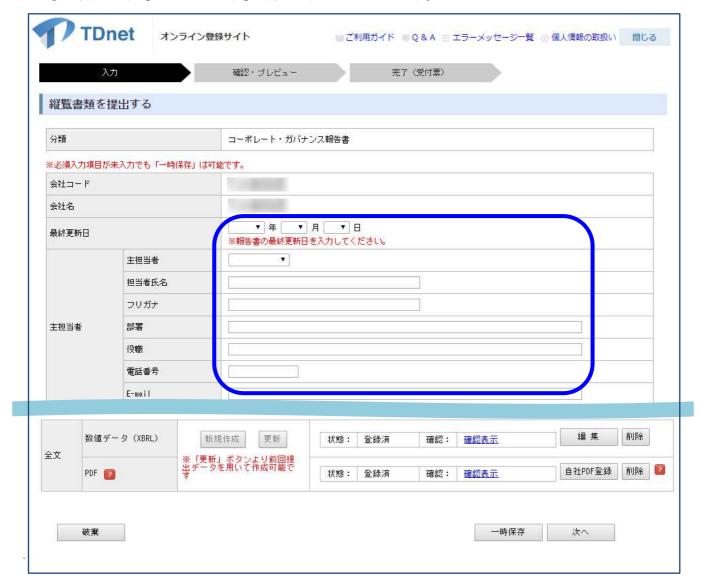


※ガバナンス報告書提出画面を一時保存する場合、「一時保存」ボタンを押下すると、確認メッセージが表示され、「OK」を押下するとガバナンス報告書提出画面が一時保存されます。(一時保存後、ガバナンス報告書提出画面をクローズする場合は、右上の「閉じる」ボタンを押下してください。)なお、一時保存されたガバナンス報告書提出画面は、ホーム画面の「未提出/一時保存資料一覧」に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」(「最終更新日」に日付を入力した場合は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書 YYYY/MM/DD」)という表題で保存されます。提出作業を再開する際は、一時保存データの「表題」を押下し、ガバナンス報告書提出画面に戻ってください。



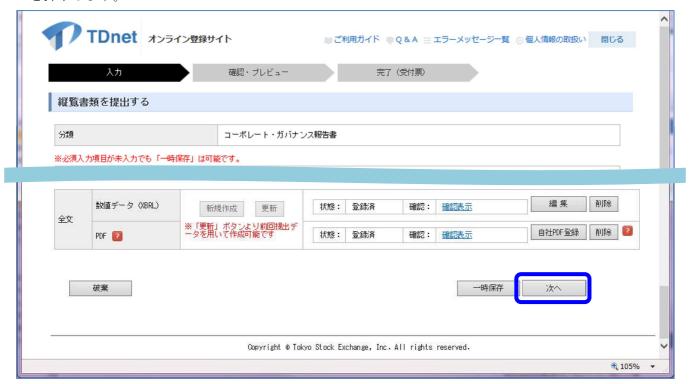


1.1-⑥「最終更新日」や「主担当者」等、必要事項を入力します。





1.1-⑦「<u>確認表示</u>」より数値データ(XBRL)及び PDF ファイルを確認し、問題がなければ「次へ」ボタンを押下します。





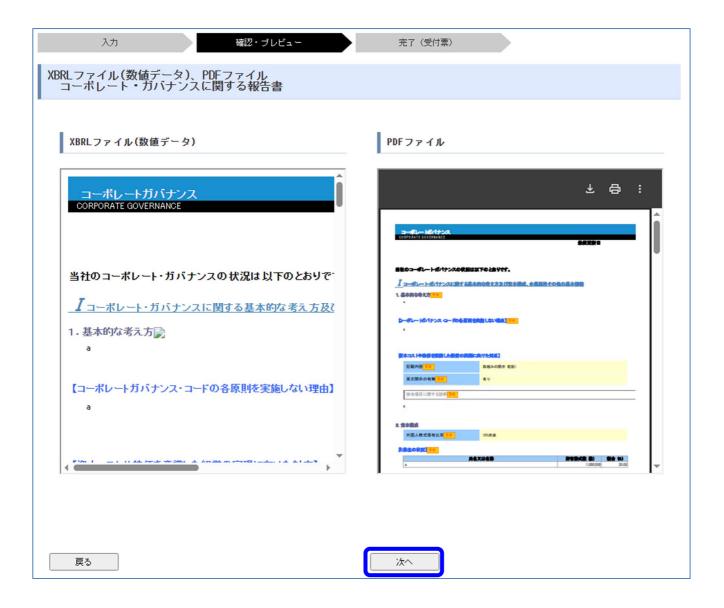
1.1-⑧確認画面が表示されます。確認後、「次へ」ボタンを押下します。

分類		コーポレート・ガバナンス報告書
会社コード		
会社名		
表題		
最終更新日		
	担当者氏名	
	フリガナ	
+-45 V/ +/	部署	
主担当者	役職	
	電話番号	
	E-mail	
	担当者氏名	
	フリガナ	
2040 W +/	部署	
副担当者	役職	
	電話番号	
	E-mail	
	数値データ (XBRL)	状態: 登錄清 確認: <u>確認表示</u>
全文	PDF	状態: 登錄済 確認: <u>確認表示</u>

13

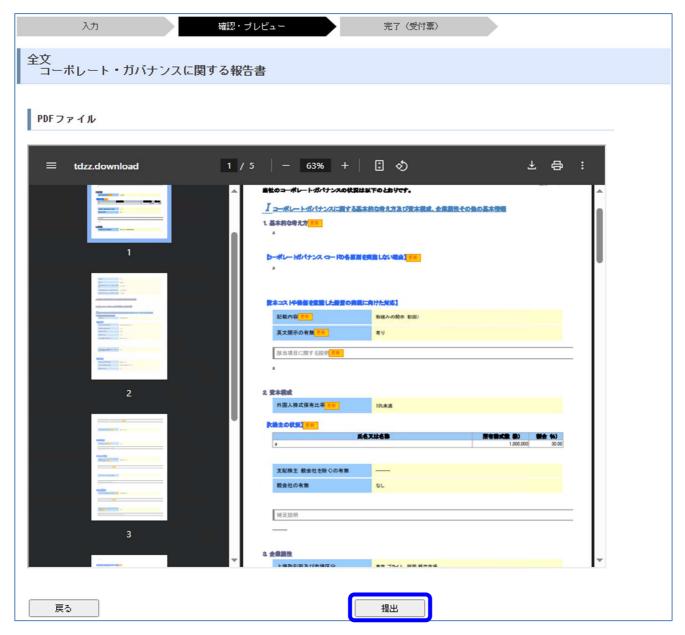


1.1-⑨プレビュー画面が表示されます。確認後、「次へ」ボタンを押下します。





1.1-⑩続けてプレビュー画面が表示されます。確認後、「提出」ボタンを押下します。





1.1-⑪提出確認メッセージが表示されます。「**OK」ボタンを押下すると、提出されます**。



1.1-⑫提出が完了すると、「受付票」が表示されます。(必要に応じて印刷・保存してください。) ※画面を閉じる場合は「閉じる」ボタンを押下してください。





1.1-③提出したガバナンス報告書は、ホーム画面の「提出済開示情報一覧」に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書 YYYY/MM/DD」という表題で表示されます。ガバナンス報告書は提出時刻の30分後に自動的に開示されますので、それまでの間は状態表示が「開示待」となります。

提出済開示情報一覧 1-20件目/150件 <u>一覧へ</u>					一覧へ
受付日時	開示指定日時 (説明)	表題	状態 (説明)	開示日時	英文資料
2025/03/14 12:50		<u>コーポレート・</u> ガバナンスに関する報告書 2025/03/14	開示待		

1.1-⑭ガバナンス報告書は提出時刻の30分後に公表され、状態表示は「開示済」となります。

提出済開示情報一覧 1-20件目/150件 <u>一覧へ</u>					<u>一覧へ</u>
受付日時	開示指定日時 (<mark>説明</mark>)	表題	状態 (<mark>説明</mark>)	開示日時	英文資料
2025/03/14 12:50		<u>コーポレート・</u> ガバナンスに関する報告書 2025/03/14	□ 開示済	2025/03/15 13:20	

※ガバナンス報告書は公表時刻になると、報道機関や情報ベンダー等に配信されるほか、上場会社 DBS にも掲載されます。(「適時開示情報閲覧サービス」には掲載されません。) また、公表日の翌日には、JPX ウェブサイト(東証上場会社情報サービス/コーポレート・ガバナンス情報サービス)に掲載されます。



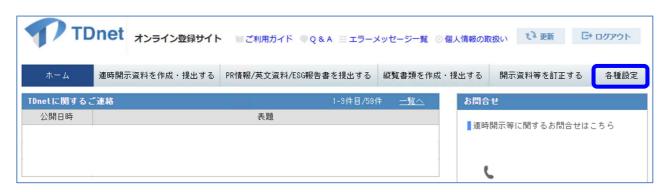
1.2.ガバナンス報告書を新規に作成して提出する場合(新規上場時やガバナンス体制の組織形態を変更した際など)

《基本的な流れ》

手順	項目	内容
1	ガバナンス報告書様式の設	・TDnet オンライン登録サイトにログインし、「各種設定」タ
	定	ブを押下します。
		・「会社基本情報の設定・確認」の「設定」ボタンを押下し、「コ
		ーポレート・ガバナンス体制の組織形態」で組織形態を選択
		します。
2	ガバナンス報告書 (XBRL)	・「縦覧書類を作成・提出する」タブを押下します。
	の作成・登録	・コーポレート・ガバナンス報告書の「提出」ボタンを押下し、
		ガバナンス報告書提出画面を開き「新規作成」ボタンを押下
		するとガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面が開きま
		すので、内容を入力して登録します。
3	ガバナンス報告書 (PDF)	・手順2でガバナンス報告書データ(XBRL)を登録すると、
	の作成・保存	登録と同時に PDF ファイルが自動で作成され、登録されま
		す。
4	ガバナンス報告書 (XBRL・	・ガバナンス報告書提出画面に必要な情報を入力します。
	PDF)の提出	・確認・プレビュー画面にて内容確認後、提出します。

《操作手順》

1.2-①TDnet オンライン登録サイトにログインし、ガバナンス報告書の様式を設定するため、「各種設定」 タブを押下します。





1.2-②「会社基本情報の設定・確認」の「設定」ボタンを押下します。



1.2-③「コーポレート・ガバナンス体制の組織形態」で組織形態を選択し、「保存」ボタンを押下します。





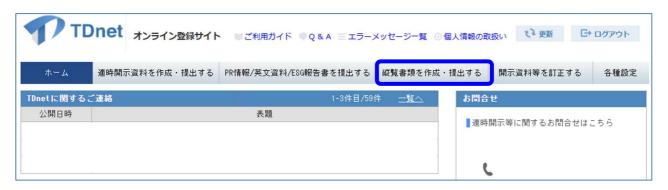
1.2-④確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンを押下します。



※ガバナンス報告書の様式がセットされます。



1.2-⑤「縦覧書類を作成・提出する」タブを押下します。

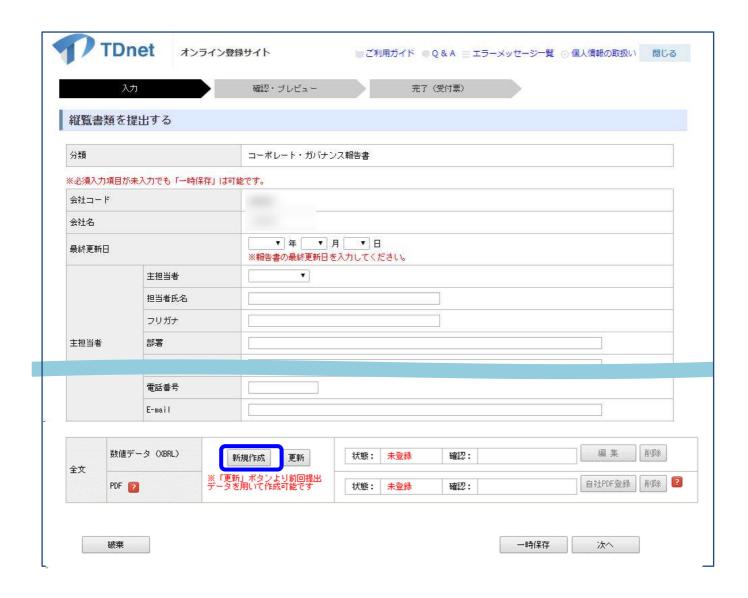


1.2-⑥「コーポレート・ガバナンス報告書」の「提出」ボタンを押下します。





1.2-⑦ガバナンス報告書提出画面が開きますので、「新規作成」ボタンを押下します。





1.2-⑧ガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面が開きますので、内容を入力して「確認・プレビュー」ボタンを押下します。



上記 1.2-⑧に続く手続きは、「1.1. 前回提出時のガバナンス報告書を更新して作成・提出する場合」における 1.1-⑤以降の手続きをご参照ください。(同一の手続きとなります。)



2. ガバナンス報告書作成時における留意事項

2.1.情報入力時における留意事項

ガバナンス報告書は、TDnet オンライン登録サイト上に設けられているガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面に情報入力して作成します。本項目では情報入力時における留意事項について記載しています。

2.1.1. 入力可能文字

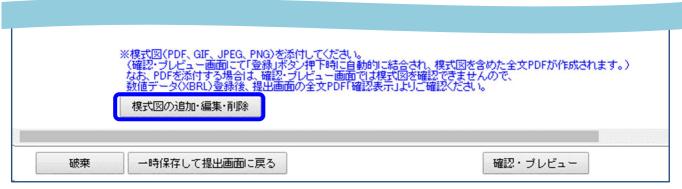
ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面においては、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準及びラテン 1 補助文字(記号は除く。)に加え、ローマ数字(I、II、III・・・)、丸付きの数字(I、2、③・・・)等の文字についても入力可能です。半角の「。」「、」「・」「「」、半角カタカナ、外字など、JIS 第 1 水準及び第 2 水準文字以外の文字等はご利用できません。

2.1.2. 模式図

ガバナンス報告書では、コーポレート・ガバナンス体制及び適時開示体制の概要に係る模式図を 記載することが求められております。

模式図の記載は、以下の方法により行ってください。

2.1.2-①ガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面の最下部にある、「模式図の追加・編集・削除」 ボタンを押下します。



2.1.2-②「追加」ボタンを押下します。





2.1.2-③「ファイルを選択」ボタンを押下して、模式図をアップロードします。



- ※アップロードいただけるファイルは画像ファイル (GIF、JPEG、PNG 形式) 又は PDF ファイルになります。
- ※画像ファイルの模式図をアップロードする場合、推奨ピクセルは、700px×700pxです。推奨値を超えた場合、模式図が正しく表示されない又は模式図の途中で改ページされることがありますのでご注意ください。
- 2.1.2-④確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押下します。





2.1.2-⑤「<u>確認表示</u>」を押下して内容を確認し、「戻る」ボタンを押下してガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面に戻ります。



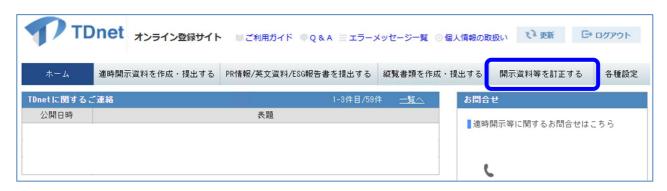
- ※模式図を2つ以上登録する場合は、「追加」ボタンを押下し、続けてアップロードを行います。 なお、模式図は5つまで登録できます。
- ※画像ファイルと PDF ファイルを混在しての登録も可能です。その場合は、登録した順番に関わらず、全文 PDF において必ず PDF ファイルで登録した模式図が一番下に表示されます (画像ファイルで登録した模式図のほうが上に表示されます)。
- ※模式図に PDF ファイルを登録した場合、ガバナンス報告書データ (XBRL) 作成画面及び確認・ プレビュー画面では、登録した模式図 PDF は表示されませんので、ガバナンス報告書提出画面 の「PDF」の「<u>確認表示</u>」よりご確認いただく必要があります。
- ※ガバナンス報告書(模式図を含めた全文 PDF)のファイルサイズの上限は10MBまでとなっておりますので、アップロードする模式図のファイルサイズにご注意ください。



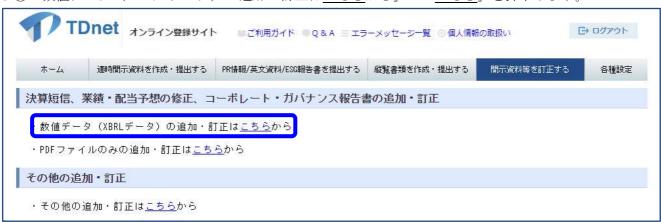
3. 公表後のガバナンス報告書の訂正

本項目では既に公表済みとなったガバナンス報告書を訂正する場合の手順について記載しています。

3-①TDnet オンライン登録サイトにログインし、「開示資料等を訂正する」タブを押下します。



3-②「数値データ (XBRL データ) の追加・訂正は<u>こちら</u>から」の「<u>こちら</u>」を押下します。



3-③過去に開示した開示情報 (XBRL データを含むもの) が一覧で表示されますので、訂正するガバナンス報告書の「表題」を押下します。





3-④ガバナンス報告書提出画面が開きますので、画面下部の「全文」数値データ(XBRL)の「訂正」ボタンを押下します。



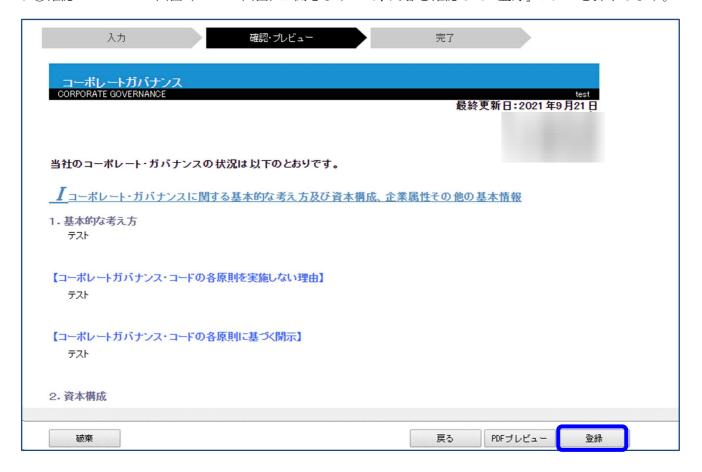


3-⑤ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面が開き、前回提出時の情報がデフォルト表示されますので、記載内容の訂正を行い、「確認・プレビュー」ボタンを押下します。





3-⑥確認・プレビュー画面 (HTML 画面) が開きますので、内容を確認して「登録」ボタンを押下します。



3-⑦上記 3-⑥で「登録」ボタンを押下すると、ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面(確認・ プレビュー画面)はクローズし、ガバナンス報告書提出画面に戻ります。PDFファイルが自動で 作成され、登録済みになっていますので、適宜「<u>確認表示</u>」より内容を確認の上、「最終更新日」 や「主担当者」情報等の必要事項を入力し、「次へ」ボタンを押下します。



※上場会社各位で作成した PDF ファイルの登録を行う場合は、「自社 PDF 登録」ボタンを押下し、ファイルのアップロードを行ってください。自動作成され、すでに登録済みの PDF ファイルに上書き登録します。



※上場会社各位で作成した PDF ファイルを登録する際、ファイル名及びフォルダ名(ファイルの格納 階層(パス))に機種依存文字等(ローマ数字(I、II、III…)、丸付き文字(①、②、③…)、半角 の「。」「、」「・」「「」、半角カタカナ、外字など、JIS 第 1 水準及び第 2 水準文字以外の文字)が含まれていないことをご確認ください。

上記 3-⑦に続く手続きは、「1.1. 前回提出時のガバナンス報告書を更新して作成・提出する場合」における 1.1-⑧以降の手続きをご参照ください。(同一の手続きとなります。)



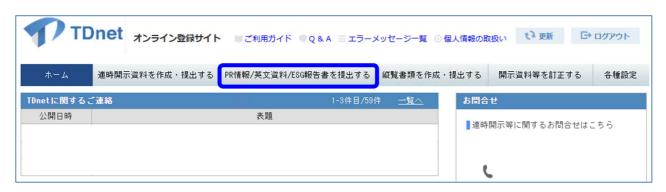
4. 英訳版ガバナンス報告書の提出

本項目ではガバナンス報告書の英訳版(以下「英訳版ガバナンス報告書」といいます。)を提出する場合の手順について記載しています。

- 4-①自社端末上で英訳版ガバナンス報告書を作成し、PDF 形式にして保存します。
 - ※東証では、英訳版ガバナンス報告書を作成されるにあたっての参考としていただくため、参考様式(英 訳版)をご提供しています。参考様式(英訳版)は、JPXウェブサイトの「英文開示様式例」のペー ジに掲載しております。

https://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/disclosure-gate/form/index.html

4-②TDnet オンライン登録サイトにログインし、「PR 情報/英文資料/ESG 報告書を提出する」タブを押下します。



4-③「英文資料(縦覧書類/PR情報等)」の「提出」ボタンを押下します。





4-④英文資料提出画面が開きますので、表題や開示指定日時、担当者情報を入力し、公開項目を選択します。続けて、「自社 PDF 登録」ボタンを押下し、上記①で作成した英訳版ガバナンス報告書のPDF ファイルを登録します。



※公開項目は「英文資料(コーポレート・ガバナンスに関する報告書)」を選択します。



※日本語のガバナンス報告書と同日に提出する場合、開示指定日時は、日本語のガバナンス報告書 の公表時刻(提出時刻の30分後)以降の時刻とするようにしてください。



4-5「全文」PDFファイルの状態が「登録済」となりますので、「<u>確認表示</u>」を押下します。



4-⑥登録した PDF ファイルが表示されますので、内容を確認後、右上の「×」ボタンを押下してクローズします。





4-⑦提出画面に戻り、「次へ」ボタンを押下します。



- ※上記 4-⑦に続く手続きは、「1.1. 前回提出時のガバナンス報告書を更新して作成・提出する場合」における 1.1-⑧以降の手続きをご参照ください。(同一の手続きとなります。)
- ※英訳版ガバナンス報告書は公表時刻になると、「TDnet サーバ型サービス」「TDnet API サービス」及び「TDnetDBS サービス」の各有料サービスに掲載・配信されます(「適時開示情報閲覧サービス」には掲載されません。)

また、公表日の翌日には、「Listed Company Search」(JPX 英語ウェブサイト内のページ)に掲載されます。



5.セッションタイムアウト警告メッセージ表示及び強制一時保存機能

本項目ではセッションタイムアウトとなる前に警告メッセージを表示する機能及びセッションタイムアウト時に作成中のガバナンス報告書データ(XBRL)を強制的に一時保存する機能について記載しています。

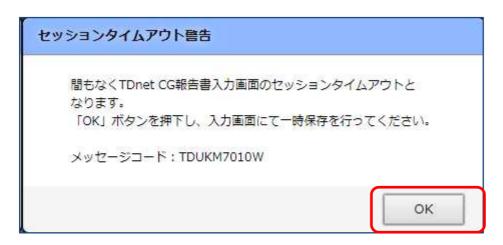
《概要》

本警告メッセージはセッションタイムアウトとなる 10 分前に警告メッセージを表示し、作成中のガバナンス報告書データ(XBRL)の一時保存を促すものです。

セッションタイムアウトは「60分間」通信が行われない場合(サーバにリクエストが届かない)に発生します。ガバナンス報告書データ(XBRL)作成画面では、「破棄」ボタン、「一時保存」ボタン又は「確認・プレビュー」ボタンを押下しないと、通信が発生しません。つまり、「60分間」文字を入力していた、マウスを操作していた場合におきましても、セッションタイムアウトは発生します。

5-① セッションタイムアウト警告メッセージ表示

セッションタイムアウト 10 分前に以下の警告メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下し、作成中のガバナンス報告書データ(XBRL)の一時保存を行ってください。「OK」ボタンを押下した後すぐに一時保存を行わない場合、セッションタイムアウトとなりますのでご注意ください。



5-② 強制一時保存機能

5-①の警告メッセージが表示された後、10 分間警告メッセージの「OK」ボタンを押下しない場合、以下の警告メッセージが表示され、作成中のガバナンス報告書データ(XBRL)は強制的に一時保存されます。入力欄に機種依存文字等(半角の「。」「、」「・」「「」、半角カタカナ、一部の外字等)が含まれている場合は、不正な文字が含まれているとのエラーが表示され、一時保存はできておりませんのでご注意ください。



xbrl.td5.arrowfront.jpの内容 セッションタイムアウトを迎えたためTDnet CG報告書の入力情報を一時保存しました。 未提出/一時保存資料一覧よりご確認ください。 メッセージコード: TDUKM7020I

なお、一時保存されたガバナンス報告書データ(XBRL)は、ホーム画面の「未提出/一時保存資料一覧」に「未設定(CG 報告書)」又は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」(「最終更新日」に日付を入力した場合は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書 YYYY/MM/DD」)という表題で保存されます。ガバナンス報告書データ(XBRL)の作成を再開する場合は、該当する「<u>表題</u>」を押下し、「全文」数値データ(XBRL)の「編集」ボタンを押下してください。



6.Q&A

Q&Aは「上場会社向けナビゲーションシステム」より参照してください。

■ 上場会社向けナビゲーションシステム 「TDnet 関連」

URL: https://faq.jpx.co.jp/disclo/tse/web/category2452.html

7.お問合せ先

■「TDnetオンライン登録サイト」における操作に関するお問合せ

TDnetオンラインサポートデスク

電話番号:0570-050-999(9:00~17:30(土日祝祭日を除く))

電子メール: jojo-tdnet@jpx.co.jp

※電子メールでお問合せの場合は、以下について必ずご記載ください。

- ①会社名
- ②ご連絡先氏名
- ③電話番号
- ④ご利用端末のOS (例: Windows11)
- ⑤ご利用端末のブラウザ (例: Google Chrome)
- ⑥ご利用端末のブラウザバージョン (例: 91.0.4472.114 (Official Build) (64 ビット))